

夢の設計図

やりたい仕事や実現したい夢 **数学研究者**

その仕事や夢を選んだ理由 **算数が好きだから、
数学でコンピューターを制御してみたいから。**

その仕事や夢を実現するために必要な条件(資格など)や力、お金はなんだろう
**博士号をとる。
大学では、理学部数学科・大学院では数学研究科に入る。**

年齢	必要な能力を身につけるためにやること
12歳	小学校 受験勉強を頑張る。興味をたくましく持つ。数検3級合格。 学校でたくましく体を動かす。お道具箱を整理する。
13歳	中学校 数検2級合格。規則正しい生活リズム
15歳	タイピング練習。クラブに熱中。英語力をつける。(単語覚え)
16歳	高校でも、クラブは熱中する。→体を動かすクラブで体力をつける
18歳	数学者の論文を少し読みはじめる。受験勉強 数検1級合格。
18歳	京都大学に入学。理学部に入る。→本格的に論文を読む。
22歳	大学院に入る。数学の問題をいっはい解く。
25歳	大学院卒業。今の時点で論文は100個読む。
26歳	助教とする。植物についても熱心にわくわく調べる。
28歳	講師(非常勤)呼吸光合成→なせできるのかも知る。
30歳	准教授になる。人工光合成、を協力して発明する。
35歳	大学教授になる。論文をいっはい書いていく。

仕事以外であなたが大人になったらやってみたいこと、実現したいこと
**「人工光合成」を発明する。→数学の立場から見て効率アップを目指す。
コンピューターを将来、数学の力で制御する。**

数学を人工光合成の発明に生かす

大阪教育大学附属天王寺小学校 五年 堂園 理仁

僕の夢は数学研究者になることだ。そして、人工光合成を発明して、地球温暖化を食い止め、化石燃料に頼らない再生可能なクリーンエネルギーを供給したい。「今年の夏は去年よりも暑くなりませう！」確か去年も同じことを言っていた。「熱中症警戒アラート」が出ているから今日は外遊び禁止！」えーまたか、折角ドッジボール楽しみにしていたのに・・・心の中で何度悔しがったことか。長い長い猛暑日、僕の小学校生活の楽しみを奪う猛暑。登下校中は、ようしゃなく照り付けてくる太陽光線とアスファルトの照り返しでクラクラする。

そんな中、今年の万博は僕が住む大阪で開かれた。海外パビリオンも日本パビリオンも民間パビリオンも凄かった。万博期間がもっともっと長ければ良いのにと強く思った。まだまだ行きたかった。どここのパビリオンもワクワクドキドキが

いっぱい詰まっていた。大阪関西万博ではAIと人間が共存していた。遠く離れていても声や表情だけではなく温もりを手で感じられたり、時空を超えて会話出来たりしていた。中でも日本館の『循環』による持続可能な未来をコンセプトとした無限の可能性には驚いた。万博で出たごみが水に、熱に、電気に、そして藻類が成長し、さらに椅子へと生まれ変わる不思議な世界だった。

これまで僕は、病理専門医か科学者になりたいと思っていた。しかし、この夏の経験を通して未来を考えるきっかけとなり、地球温暖化が人類に与える影響がとて心配になった。そこで僕は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を減らし、同時にクリーンなエネルギーを供給するための人工光合成を発明したいと考えた。調べてみると現在世界中で人工光合成に対する研究が進められていることを知っ

た。けれど、地球温暖化による災害や悪影響はどんどん膨らんでいる。それならば、人工光合成の実現を早められないだろうか考えた。

そこで僕は数学研究者になろうと決めた。数学研究者になってコンピューターを自由自在に操り、複雑なシステムを理解し整理することで、研究の効率をアップさせられるのではないかと考えたのだ。幸い僕は算数が好きだ。特に難解な図形を解くことが大好きだ。全く分からない、難しいと思っても諦めないで補助線を書いたり回転させたり、とにかく色々試してみる。すると、あっそうか！とひらめく瞬間がやってくる。この瞬間が僕は大好きなのだ。

世界中の様々な分野の研究者が協力し合い、一致団結して取り組めば百年かかるといえること一つ一つを大切に全力で取り組み、将来数学研究者になって世界中の人たちの役に立つ人間になりたい。子供たちが思いっきり外遊びを楽しめる安全な未来にしていきたい。

*こちらは、小学生「夢をかなえる」作文コンクールの「ライフプランシート」としても使えます。